

カラー培養球根は 10 月下旬に急激に肥大する

福島県農業総合センター 会津地域研究所

1 部門名

花き－カラー－栽培

2 担当者名

大竹真紀

3 要旨

カラーの県育成系統を組織培養により生産した 1~2g 程度の培養球根は、30g 以上に肥大させないと切り花用球根には適さないため、掘り上げ時期を明らかにする必要がある。

高冷地で培養球根を養成栽培した場合、掘り上げは 10 月上・中旬では球根の発達が未熟であり、10 月下旬であれば 30g 以上の切り花用球根が 5 割以上得られた。

- (1) 猪苗代町（標高 526m、気温(図 1)）で切り花栽培に準じて培養球根の養成栽培を行った。
- (2) 耕種概要は、30%遮光したパイプハウスに 5 月 15 日に定植し、株間 10cm×条間 20cm、2 条植えとし、ワラマルチを行った。
- (3) 10 月上・中旬では球根の発達が未熟で、10 月下旬の掘り上げでは 3 系統ともに切り花用として利用できる 30g 以上の球根が 5 割以上得られた（図 2）。

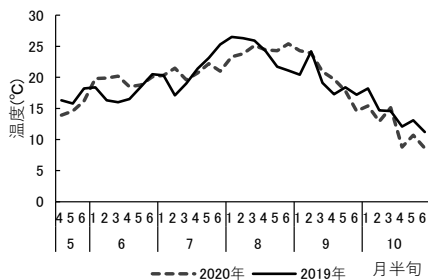


図 1 栽培地の半月別平均気温の経過 (猪苗代町アメダス値)

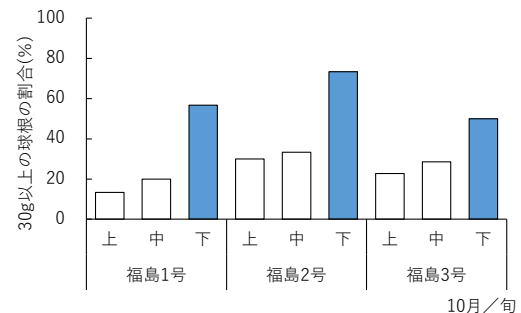


図 2 養成栽培における掘り上げ時期と切り花用球根の割合
栽培地 猪苗代町。2020 年 5 月 15 日定植。
切り花用球根の割合：重量 30g 以上の球根数／定植培養球数

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和元年度～令和 2 年度
- (2) 研究課題名 会津地域の特色を活かした野菜・花きの高品質安定生産技術の確立
畑地性カラーの多収栽培技術の確立 [福島県と JA グループ福島による福島県産農産物競争力強化共同事業、JA グループ福島寄附金]

5 主な参考文献・資料

- (1) 大竹真紀, 畑地性カラー「クリスタルブラッシュ」の夏秋期栽培における花芽形成と塊茎の発達, 福島県農業総合センター研究報告, 8, p.47-58, 2016.